

広報

やまと

3月号

2019 No. 262

もくじ

- 02-03 特集1：大和村直行バス運行開始のお知らせ
- 04-05 特集2：第8回大和まほろば福祉まつり
- 06-09 シマの話題
- 10-11 連載：ワンダー奄美（地域おこし協力隊通信）ほか
- 12-14 お知らせ
- 15 島の宝、ほか
- 16 大和村長のフォトダイアリー、ほか

停留所一覧



奄美市内の停留所案内板イメージ

奄美市内（停留所を新設）						大和村内（従来の停留所を利用）					
根瀬部	知名瀬	小宿トンネル前	中央病院前	ウエストコート前	名瀬郵便局前	大島高校前	奄美小前	県病院前	今里	志戸勤	名音
											大和の園
											戸円
											大金久
											大和浜
											思勝
											津名久
											湯湾釜
											国直

ご注意ください！ 奄美市内での乗降はできません。

大和村⇒奄美市行きの場合…奄美市内のバス停留所から乗車することはできません。

大和村内のみ乗車できます。奄美市内では降車のみ可能です。

奄美市⇒大和村行きの場合…奄美市内のバス停留所で降車することはできません。

大和村内のみ降車できます。奄美市内では乗車のみ可能です。

時刻表

大和村 ⇒ 奄美市名瀬行き

	停留所	平 日					
		今里	志戸勤	名音	大和の園	戸円	大金久
大和村内		5:50	6:31	9:50	13:30	15:18	
		5:52	6:33	9:52	13:32	15:20	
		5:56	6:37	9:56	13:36	15:24	
		5:59	6:40	9:59	13:39	15:27	
		6:01	6:42	10:01	13:41	15:29	
		6:11	6:52	10:11	13:51	15:39	
		6:12	6:53	10:12	13:52	15:40	
		6:18	6:59	10:18	13:58	15:46	
		6:19	7:00	10:19	13:59	15:47	
		6:20	7:01	10:20	14:00	15:48	
奄美市内 ※市内からの乗車不可		6:23	7:04	10:23	14:03	15:51	
		6:25	7:06	10:25	14:05	15:53	
	根瀬部	6:35	7:16	10:35	14:15	16:03	
	知名瀬	6:37	7:18	10:37	14:17	16:05	
	小宿トンネル前	6:45	7:26	10:45	14:25	16:13	
	中央病院前	6:50	7:31	10:50	14:30	16:18	
	ウエストコート前 ※空港線乗継	6:55	7:36	10:55	14:35	16:23	
	名瀬郵便局前	6:58	7:39	10:58	14:38	16:26	
	大島高校前	7:03	7:44	11:03	14:43	16:31	
	奄美小前	7:04	7:45	11:04	14:44	16:32	
	県病院前	7:05	7:46	11:05	14:45	16:33	

	停留所	土日祝祭日			
		今里	志戸勤	名音	大和の園
大和村内		6:40		10:25	15:00
		6:42		10:27	15:02
		6:46		10:31	15:06
		6:49		10:34	15:09
		6:51		10:36	15:11
		7:01		10:46	15:21
		7:02		10:47	15:22
		7:08		10:53	15:28
		7:09		10:54	15:29
		7:10		10:55	15:30
奄美市内 ※市内からの乗車不可		7:13		10:58	15:33
		7:15		11:00	15:35
	根瀬部	7:25		11:10	15:45
	知名瀬	7:27		11:12	15:47
	小宿トンネル前	7:35		11:20	15:55
	中央病院前	7:40		11:25	16:00
	ウエストコート前 ※空港線乗継	7:45		11:30	16:05
	名瀬郵便局前	7:48		11:33	16:08
	大島高校前	7:53		11:38	16:13
	奄美小前	7:54		11:39	16:14
	県病院前	7:55		11:40	16:15

奄美市名瀬 ⇒ 大和村行き

	停留所	平 日					
		県病院前	奄美小前	大島高校前	名瀬郵便局前	ウエストコート前 ※空港線乗継	中央病院前
奄美市内 ※大和村方面での降車不可		7:50	10:55	13:05	17:05	19:10	
		7:51	10:56	13:06	17:06	19:11	
		7:52	10:57	13:07	17:07	19:12	
		7:57	11:02	13:12	17:12	19:17	
		8:00	11:05	13:15	17:15	19:20	
大和村内		8:05	11:10	13:20	17:20	19:25	
		8:10	11:15	13:25	17:25	19:30	
		8:18	11:23	13:33	17:33	19:38	
		8:20	11:25	13:35	17:35	19:40	
		8:30	11:35	13:45	17:45	19:50	
		8:32	11:37	13:47	17:47	19:52	
		8:35	11:40	13:50	17:50	19:55	
		8:36	11:41	13:51	17:51	19:56	
		8:37	11:42	13:52	17:52	19:57	
		8:43	11:48	13:58	17:58	20:03	
		8:44	11:49	13:59	17:59	20:04	
		8:54	11:59	14:09	18:09	20:14	
		8:56	12:01	14:11	18:11	20:16	
		8:59	12:04	14:14	18:14	20:19	
		9:03	12:08	14:18	18:18	20:23	
		9:05	12:10	14:20	18:20	20:25	

	停留所	土日祝祭日			
		県病院前	奄美小前	大島高校前	名瀬郵便局前
奄美市内 ※大和村方面での降車不可		8:30		13:03	17:30
		8:31		13:04	17:31
		8:32		13:05	17:32
		8:37		13:10	17:37
		8:40		13:13	17:40
大和村内		8:45		13:18	17:45
		8:50		13:23	17:50
		8:58		13:31	17:58
		9:00		13:33	18:00
		9:10		13:43	18:10
		9:12		13:45	18:12
		9:15		13:48	18:15
		9:16		13:49	18:16
		9:17		13:50	18:17
		9:23		13:56	18:23
		9:24		13:57	18:24
		9:34		14:07	18:34
		9:36		14:09	18:36
		9:39		14:12	18:39
		9:43		14:16	18:43
		9:45		14:18	18:45



運行開始のお知らせ

これまで株式会社しまバスにより名瀬与儀又〜大和村今里間を「しまバス」が運行しておりましたが、運転手不足により、従来どおりの運行が維持できなくなったことを受け、4月5日の運行を最後に路線が廃止されました。6日からは大和村が運営する大和村直行バスが運行しています。県病院前〜今里間を運行し、通学や通院がこれまで通りできるようになっています。

ご利用方法

乗車の際に村民バスポート券を運転手に見せて、下りる停留所を伝えてください。

これまでの高齢者バス無料券は廃止されますので、高齢者向け村民バスポート券（黄色）をご利用ください。

高校生の通学もこれまで通り無料です。高校生用村民バスポート券（青色）をご利用ください。

村民バスポート券の配布を希望される場合は企画観光課までお問い合わせください。

大和村直行バスの概要

(1) 代替運行事業者：大島タクシー

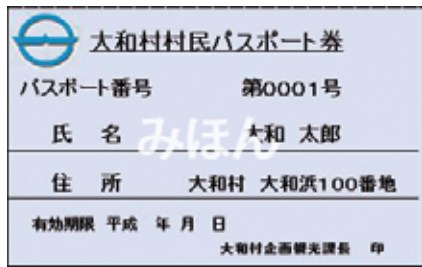
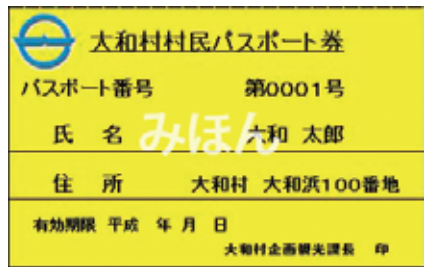
(2) 運行開始日：平成31年4月6日（土）から

(3) 運賃等：当面の間は運賃無料

※有料運行の認可が下り次第、有料となります。

(4) 運行時間及び停留所：左頁の通り

(5) 運行車両：大島タクシーのマイクロバスに「大和村直行バス」と記載



村民バスポート券

黄色：65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方

青：高校生通学用

緑：一般の方

お問合先

大和村企画観光課

電話 0997-57-2117

私の声が見えますか？ ～認知症の人たちの小さくて大きなひと言～



認知症介護研究・研修東京センターの研究部部長 永田 久美子氏を講師に迎え、「私の声が見えますか？～認知症の人たちの小さくて大きなひと言～」と題した講演を行っていただきました。「認知症になると悪くなる一方、その後の人生は真っ暗。」と絶望的に捉えがちですが、認知症になってもよりよく暮らしていくことができ、その鍵となるのが「地域みんなの認知症のとりえ方」で、本人に関する理解、支援、つながりの有無で本人の状態が大きく左右されるとの話がありました。認知症の本人が求めている事は、安心や、自分らしさ、自立、自由、楽しみや人とのつながりといった、人として当たり前のこと。特別な対応ではなく人としての素朴な関わりの積み重ねが大切とのことでした。「認知症は長い旅路：あきらめないで、つながりあって、互いに、より良い日々」を送れるように、本人の声を聞きながら地域みんなで支え合って行きたいものです。

一足先に認知症になった私からのメッセージ

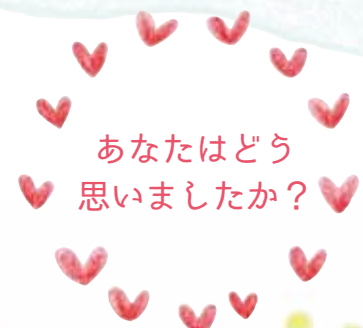
平成 26 年、51 歳のときに若年性アルツハイマー型認知症と診断された福田 人志氏とパートナーの中倉美智子さんを招いて、認知症本人の立場からお話をいただきました。福田さんと中倉さんは現在、当事者の声を届けるため全国で講演活動をされています。そんな福田さんも診断当時は、今までやってきた当たり前の社会生活がすべてできなくなり、絶望し、精神的に追い詰められていたといひます。パートナーの中倉さんの懸命な支援でなんとか持ち直し、生きることを決意したそう。発症当時から苦しい胸の内を短い言葉でつぶっていた「一行のうた」に、主治医や中倉さんの提案で詩に添える絵を描き始め、どんどんと楽しくなり、今では絵はがきとして講演等で販売し活動資金の一部となっているそうです。適切な支援があったからこそ自立して、前向きに生活を送ることができているのでしょう。認知症の人すべてに必要なとする支援が受けられるような地域を作りたいですね。



うちの父、認知症やってます。



トークセッションの部では、認知症のお父さんの介護をする齋藤 大樹さんを交えて、本人・パートナー・家族の立場から様々な意見を伺いました。齋藤さんは冒頭で「うちの父は、認知症やってます」と明るく紹介し会場を沸かせていました。齋藤さんをはじめから明るくお父さんを支えられていたわけではなく、「本人もなりたくて認知症になっているわけではないのに、自分の感情で手を上げてしまったことがあった」と告白。家族が認知症となったという状況を一度受け入れ、あきらめることで、逆に覚悟が決まり前向きに考えることができ、本人もまわりの人も笑顔で過ごせるようになったとのこと。齋藤さんは冒頭のように自分から明るく周囲に知らせ、「父を見かけたらよろしくね」と地域の人をお願いするのだそう。支援は自ら発信しないと手に入られないもの。「恥ずかしい、迷惑をかける」と尻込みせずに、声をあげることが大切です。またお互い様の精神で自分にできる支援をしていきたいものです。



第8回 大和まほろば福祉まつり ～暮らしの中の認知症を考える一日～

2月17日、大和村防災センターにて、第8回大和まほろば福祉まつり～暮らしの中の認知症を考える一日～が開催されました。昨年に引き続き、認知症をテーマとし、寸劇や講演、シンポジウムが催され、およそ200名が来場し、認知症についての理解を深めました。開催後のアンケートでは認知症の方やそのご家族のためにあなたにできそうなこととして「話相手になる」「笑顔で声かけ」「見守り」が多くあがっていました。この会を機に支援の輪が広がって、地域に笑顔が増えていくことを願っています。

ここで、当日の様子を振り返りながら、もう一度認知症について考えてみませんか？

寸劇「財布を盗られた」

地域支え合いグループ思勝おがみの会のメンバーより寸劇が披露されました。限られた時間のなかで練習を重ね、笑いあり涙ありの劇を披露していただきました。

代表の栄 よう子さんは、「住み慣れた家でいつまでも暮らしたいという願いを阻むのが認知症。本人も家族も誰にも相談できずに悩む時期もあるが、話し方ひとつで双方が楽になることも。前向きに考えてもらいたい」と語りました。



認知症のおばあちゃん。財布の置き場所を忘れてしまい、いつも財布を捜しています。そして「財布を盗られた！」と大騒ぎ。



「盗むわけない！どこかに置いて忘れてるだけ」と息子はイライラ。毎度の騒ぎにお疲れ気味のようです。



「ほらでてきた！」無事に財布を発見。「まったくもう。お騒がせな」と息子、まだまだイライラ。きつく当たってしまいます。



叔父さん登場。「ばあちゃんだって好きで忘れてるわけじゃないし、不安なんだ。認知症だってことを受け入れて、安心させる言葉をかけよう」と息子をさとしします。



あれ、近所のおじいちゃんが徘徊？



「おじいちゃん、どうしたの？」と声をかける叔父さん。近所にも見守りの目があると安心ですね。



ご参加ありがとうございました！

まほろば大和 第17回ウォーキング大会



村制施行110周年記念第17回まほろば大和ウォーキング大会が1月27日、奄美フォレストポリスにて開催されました。同大会は、大和村教育委員会によって開催され、1km、4km、6km、8kmのコースがあり、あらゆる年代の方が自身の体力に合わせて楽しんでいただけるウォーキング大会です。今年は過去最多の979人が村内外から参加され、世界自然遺産候補の湯湾岳にほど近い公園でヒカンザクラを眺めながら森林浴を満喫されました。

スタート前には、ツツジの植樹、健康相談やノルディックウォーキングの指導、農産物等の販売が行われました。大人気の福元産のだいこんや村内で作られた野菜、魚、果物やお菓子などが並ぶ販売コーナーは、絶えず人が訪れ、大盛況となりました。無料配布が行われた地産産のイモ「いよどん」を使った焼き芋コーナーには長蛇の列ができ、ほかほかのお芋で温まる姿が見られました。

全員がゴールした後に開催される恒例のお楽しみ抽選会では、村制施行110周年記念でもあり、例年よりも豪華な景品がそろいました。当選番号が発表されるたびに歓声が上がり、航空券や伊勢エビなどが総勢200名以上の方に贈られました。

今年も多くの皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。来場者の中には奄美市から参加し、今年で8回目という方もいて、このイベントが多くの方に親しまれていることを感じました。来年も多くのご参加をお待ちしています。



公民館講座 22人に精勤賞

2月24日、大和村防災センターにおいて公民館講座合同閉講式と発表会が行われました。平成30年度は、17の講座があり、受講人数は170人、そのうち全ての日程を終了した22人に精勤賞が授与されました。発表会では島唄などの歌の披露や、フラダンスなど踊りの発表、ヨガ教室の呼吸法の紹介などが行われました。会場には、あみものや陶芸作品、短歌などの作品が展示され、多くの人が足をとめていました。来年度は新しく島口、ペリダンス、フォークギター、こども硬筆の4つの講座が加わります。多くのの方の受講をお待ちしています。



宮古崎にエコなトイレ完成

3月27日、国直集落の宮古崎に建設中だったバイオトイレが完成しました。水道管や下水管、電線等を新たに整備する必要がなく、環境に配慮した簡易トイレで、太陽光パネルで蓄電し、杉チップを利用し微生物の働きで汚物を分解するものです。展望台付近に設置されており、一日に70回ほどの処理能力があります。トイレトーパー以外は分解することができませんので、使用の際はご注意ください。



たんかんシーズン終了

来年の豊作願う

2月6日、福元地区の玉野公和さんの農園でハサミ入れ式を行いました。昨年の度重なる台風の影響や鳥害などで不作が予測されていましたが、今年のたんかんシーズンの盛況、来シーズンの豊作を祈願し、伊集院村長がハサミを入れ大きく実ったたんかんを収穫しました。

本村のたんかん出荷量は25トン。小ぶり傾向でしたが、味は例年どおり甘味と酸味のバランスがよく高評価。

奄美群島品評会では大和村内の農家から出品されたたんかんが銀賞と銅賞の2点を獲得。昨年の金賞に引き続き輝かしい成績を残しました。



水田さんに 出版文化賞

思勝在住の水田拓さん（奄美野生生物保護センター勤務）が第39回沖縄タイムス出版文化賞（沖縄タイムス主催）を受賞されました。受賞作は「島の鳥類学 高木昌興 共編 海游舎」で、28名の鳥類研究者の成果をまとめたもの。水田さんによると、奄美大島には驚くほど多くの鳥が生息しており、特に大和村では家のそばでも様々な鳥の声を聞いたり姿を見ることができると素晴らしい環境にあるとのこと。「この島はこんなに凄いところなんだと知ってもらえれば」と水田さん。受賞作と他の著書は、奄美野生生物保護センターでも閲覧できます。



大和小で黒糖づくり

1月30日、大和小学校の3、4年生の4名が思勝老人クラブの指導を受けながら、黒糖作り体験を行いました。材料となったのは同小学校で育てたサトウキビ。児童らはおよそ100本のサトウキビを絞った汁30リットルほどから、黒糖およそ3キログラムが出来るまでの一連の作業を行いました。

粘度があがると鍋をかき混ぜるのにも一苦労。児童らは力をこめてかき混ぜ、苦労して作った黒糖を味見して笑顔を見せていました。また水あめ状の「ヒューチザタ」も初めて口にし、固まった黒糖との味の違いに驚いていました。



大和村の魅力がつまった風景印

1月28日、大和中学校で「あなたの街の郵便局・風景印コンクール」の表彰式が行われ、3年生の窪山秀雲万さんに最優秀賞の賞状と金の郵便ポストが送られました。当コンクールは、奄美地区の郵便局が主催し、地域の風景を描いた日付印のデザインを中学生から募集。窪山さんの作品は大和村の海の美しさが波の曲線で表現され、高倉やスモモなどが組み合わされています。窪山さんは「大和村の魅力が詰まった印なので、大和村を思い出したり、行ってみたいと思ってもらえるとうれしい。」と笑顔を見せていました。村内の郵便局で5月から使用されます。



宮古崎つつじウォーク開催

3月11日に、NPO法人TAMASUと国直集落青壮年団による第10回宮古崎つつじウォークが行われました。あいにくの雨模様ながらも、112名が参加し、自然景観再生のためツツジの植樹も行われました。NPO法人TAMASU代表の中村修さんは、「国直集落が里山として守ってきた宮古崎のツツジを再生させようと苗づくりを初めて早17年。苗が大きく育つてから始めた本イベントも10回目を迎える。集落が主体となったイベントが10周年を迎え、大変感慨深い。」と語っていました。

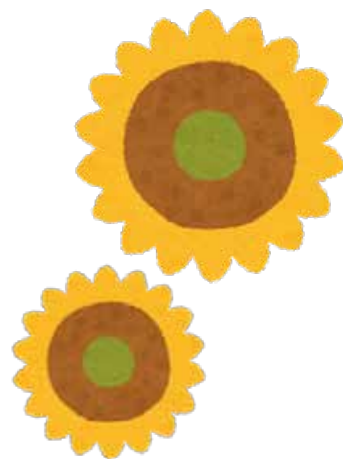


ご遺族のケアについて 文／小川 信

先日、埼玉医科大学精神腫瘍科の大西秀樹教授に「遺族ケア」について、大和診療所で講演して頂きました。人生において受けるストレスが大きい出来事の1位は配偶者の死、そして5位は近親者の死という研究結果があります。

配偶者や近親者を亡くした遺族は死亡率が上がります。55歳以上の男性の場合、奥さんを亡くしてしまうと半年で死亡率が40%上がります。心疾患で亡くなる方が多いと言われています。精神疾患罹患率も上がります。うつ病は通常100人の中に、3、4人おられますが、一回忌が終わった遺族100人の中でみると15人がうつ病といわれます。また、自殺率も上がります。通常の割合に比べ女性は10倍、男性は66倍となります。それほど身近な人の死が与える影響は大きいのです。

大和診療所では、遺族の方々の支えになりたいと考えています。死別後カウンセリングが不安や緊張などを軽減すると言われています。気持ちの辛さを感じておられる方、ご相談ください。



カエルの鳴き声を聞きにいこう

文／奄美自然体験活動推進協議会 吉田明美

第12回

世界自然遺産
をめざす
ワキヤシマの
いきむんマンディ



メスを呼ぶアマミアオガエル



メスを待つアマミハナサキガエル

季節を感じる風物詩の一つにカエルの鳴き声があります。カエルは繁殖期にオスがメスを呼ぶために鳴きます。「クリリリリー」、「ギーギー」など種類によって鳴き声はそれぞれで、声で種を判別することができます。4月ともなると冬に鳴くカエルのピークは過ぎているものの、まだ鳴いていますし、初夏～夏にピークを迎えるカエルたちが鳴きはじめる頃です。つまり、この時期は、奄美にいるほぼ全ての種類のカエルの声を聞くことができるといえるでしょう。

せっかくなので、詳しい人と散策に出かけてみてはいかがでしょうか。これは〇〇の鳴き声、あれはヘビに食べられるカエルの声・・・などなど教えてくれるでしょう。常々驚かされているのですが、大和村には隠れ自然博士がたくさんいます。詳しくないと謙遜されますが、尋ねてみるとたくさんのことを教えてくれます。生活の中の当たり前の知識なのでしょうね。本当に素晴らしいことです。是非その知識を子どもや孫世代に伝えていってほしいと思います。

大和村は自然がすぐそばにある素晴らしい所です。皆さん一緒にもっともっと自然に親しんでいきましょう♪



地域おこし協力隊 小海もも子の

ワンダー奄美

Wonder Amami

第16回

数百年先を思い、今足元のゴミを拾う

最近、1歳になった娘と海辺に散歩に行った時、娘がゴミを口に入れないように周辺のゴミを拾っています。拾うゴミは、レジ袋1つ分だけ。たったそれだけですが、数日続けていると、だんだん浜がきれいになっているような気がします。ゴミはペットボトルや漁の道具が多いですが、靴、ストロー、歯ブラシ、おもちゃ、麻雀の牌まであり、5分もせずに袋はいっぱいに。拾ったゴミは、主にプラスチックなので自分の家の燃やせるゴミと一緒に出しています。

世界の海に存在しているプラスチックゴミは、毎年800万トンが追加されています（WWF ジャパンサイトより）。私が拾うゴミはほんの少しですが、ゴミが生き物の命を脅かしたり、何百年も砂浜や海底に蓄積したりするかもしれないと思うと拾わずにはられません。

そういえば私が小さい頃、母が路肩のゴミを拾うことが度々ありました。その頃は待たされるのが嫌でしたが、いまとなれば素晴らしい行動だと尊敬できます。そして私もそんな姿を娘に見せたいと思うのです。美しい大和村で育ったという記憶をできるだけ残してあげたいと思っています。



どんなストーリーがあつてここに流れ着いたのか、想像を掻き立てられます。



美しい砂浜ですが、冬は発泡スチロールが北風でカサカサと転がります。



合同会社ひらとみのウノママ大和村

Unmama Yamatoson

大和村の在来ダイコン品種

合同会社ひらとみの久保和也です。最近は陽射しも強くなってきて、畑仕事をしていても夏が近づいていると感じます。今回は、福元盆地などで栽培されていて、大和村の在来品種と言われているダイコンについてお話をします。

私は大学で、その地方の在来カブ品種について研究を行っていました。それぞれの地域で受け継がれてきた在来品種は形状や色が様々で、カブやダイコンも、見た目が大きく異なる品種が数多くあります。最近では、農産物でも在来品種がその希少性や、生物多様性保全の観点から世界的に注目されており、特産品としてその場所を盛り上げている事例も次々と出てきています。

福元盆地で栽培されているダイコンが厳密に在来品種といえるかどうかは、詳細な調査を行わないと分かりませんが、見た目や色も独特ですので、その希少性は優れた商品の開発にも繋がりますし、何より、アマミノクロウサギなどの動物とともに、多様性に満ちた豊かな自然が残っている大和村の象徴となる可能性もあります。

大和村には、他では見られない植物が身近にたくさんあります。この豊かな自然環境を、産業の面からも守っていきけるような取り組みをこれからも行っていきたいと考えています。



昔ながらの工程で切り干し大根を作り、商品化しました。



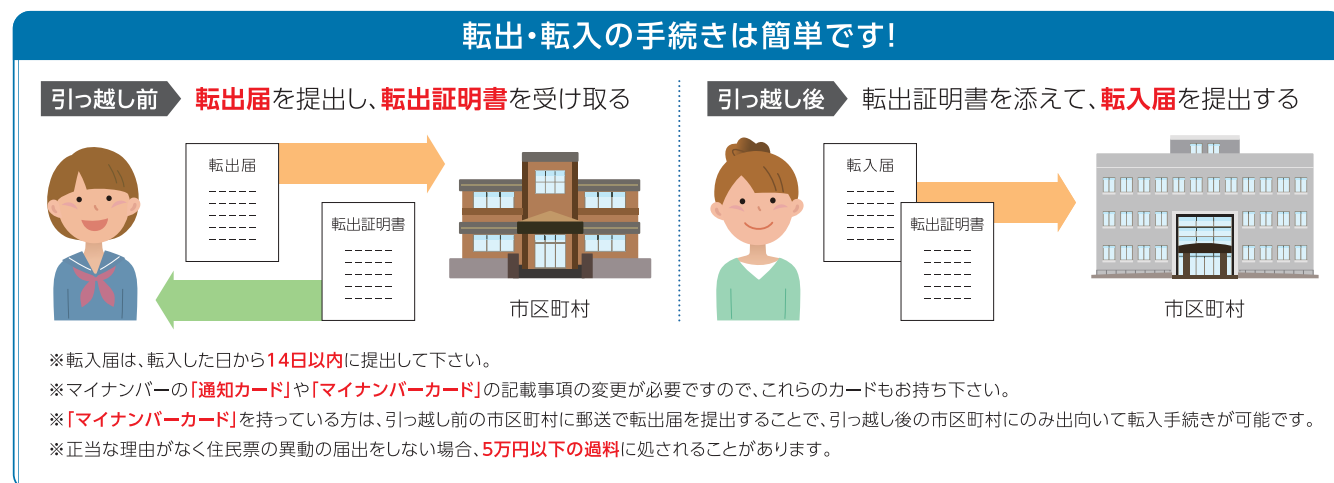
満開の花がとてもきれいです。採種も頑張ります！



新生活はじまる 引越×住民票×選挙

進学や就職などで引っ越しされた方は、
原則、**現在住んでいる寮・アパート等が住所地**になります。

住所の異動がある方は、住民基本台帳法に基づき、転出・転入の手続きをする必要があります。上下水道やゴミ処理、道路・公園の整備などの役割は、住んでいる市区町村が担っています。住民票は、こうした行政サービスや**選挙人名簿**への**登録**などにつながる大切な情報ですので、忘れずに手続きをしましょう。



住民税務課からのお願い

**給水装置は皆さんの財産です。
大切に扱きましょう。**

集落排水利用についてお願い

給水装置とは？

道路には、配水管と呼ばれるご家庭に水を配るための水道管が埋設されています。この管から各家庭に引き込まれた水道管が給水管です。この給水管とこれに取り付けられている止水栓、水道メーター、蛇口などの器具をまとめて「給水装置」といいます。

給水装置の管理区分

給水装置は、皆さんの財産です。また水道メーターの入っているメーターボックスも皆さんの財産です（村が貸与している場合を除く）。

給水装置の新設、改造、撤去、修理等にかかる費用は、財産所有者の皆さんが負担することになりますので、日頃から大切に扱きましょう。

※給水装置の工事は、必ず村の指定給水装置事業者に依頼してください。

集落排水に接続済み集落の場合、家庭から出る排水は、処理施設に運ばれ、微生物による分解処理が行われます。

・トイレでは、布きれ、ガーゼ、水に溶けない紙や紙おむつ、生理用品等は流さないでください。これらは、配水管、ポンプを詰まらせる原因となるとともに、分解槽内で分解することができません。

・油は流さないでください。配水管を詰まらせる原因となるとともに、分解槽内の処理機能を著しく低下させます。野菜くずや残飯はもえるゴミにだしてください。

・施設内で分解を行う微生物にとって好ましくない塩素系の洗剤、リンを含む洗剤などはできるだけ使用しないようお願いします。

・農薬、殺虫剤、灯油、ガソリン等の危険物は絶対に流さないようお願いします。

詳しくは大和村役場住民税務課まで

電話 0997(57)2127(直通)

引越しの際は、住所の異動手続きを忘れずに！

○**住民票の住所の異動届**（転出届・転入届・転居届など）は、国民健康保険、国民年金、選挙人名簿への登録などにつながる**大切な手続き**です。

○住民の皆様へ送付している**身分証明書となるマイナンバーの「通知カード」「マイナンバーカード」（個人番号カード）**



これらの「住所」は**最新のものにする必要があります。**

市区町村窓口での「**正確な住所の届出**」が必要です！（法律上の義務です）

入学・就職・転勤等による引越で、住所を異動される方は、

◆**住民票の異動の届出を！** ◆マイナンバーの「**通知カード**」、「**マイナンバーカード**」、（個人番号カード）

○他の市区町村に転出・転入される場合

引越前の市区町村 [転出前に] 転出届を提出して 転出証明書を受け取る

引越先の市区町村

[転入した日から14日以内に] 転出証明書を添えて 転入届を提出

「**住民基本台帳カード**」の住所変更の届出も お忘れなく！

※詳しくは、お住まいの市区町村の窓口へお問合せください。

○同一の市区町村内で転居される場合

お住まいの市区町村 [転居した日から14日以内に] 転居届を提出

（正当な理由がなく住民票の異動の届出をしない場合、5万円以下の過料に処されることがあります。）

総務省
MTC

届出は大和村役場住民税務課まで

電話 0997(57)2127(直通)

2019年度障害者委託訓練生募集

- 訓練内容 介護サービス科介護職員初任者研修(3ヶ月コース)
- 授業料 無料
- 定員 7名
- 募集期間 5月7日(火)～5月30(木)
- 面接選考 6月17日(月)
- 訓練期間 7月5日(金)～10月4日(金)
- 訓練場所 奄美市社会福祉センター
奄美市名瀬長浜町5番6号
電話0997(52)7601
- 問合せ先
○ハローワーク名瀬
電話0997(52)4611
- 国立・県立鹿児島障害者職業能力開発校
薩摩川内市入来町浦之名1432
電話0996(44)2206

マリンレジャーを安全に楽しむために

- 奄美群島では、ゴールデンウィークから釣りやダイビング・スノーケリング等のマリンレジャーが活発であり、例年、事故も発生しています。次の点に注意して、安全にマリンレジャーを楽しんでください。
- 〔注意事項〕
- ・スノーケリング等の基本を習得しましょう。
 - ・体調が悪いときや飲酒をしたときはマリンレジャーをしない勇気をもちましょう。
 - ・離岸流が発生しやすい場所や危険が潜む地形などを把握しましょう。
 - ・単独行動を避け複数で行動しましょう。
 - ・ライフジャケットを正しく着けメンテナンスをしましょう。

「期間」ゴールデンウィーク安全推進活動期間 4月27日(土)～5月6日(月)

- 問合せ先 奄美海上保安部
電話0997(53)5569

特別障害者手当及び障害児福祉手当について

特別障害者手当及び障害児福祉手当は、重度の障害児又は障害者に対して、その障害により必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当を支給することにより、特別障害児及び特別障害者の福祉の向上を図ることを目的にしています。詳しくは、保健福祉課にお問合せください。

■問合せ先

- 大和村役場保健福祉課
電話0997(57)2218(直通)
- 大島支庁地域保健福祉課地域支援係
電話0997(57)7243

九州電力から感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚釣りは絶対に行わないようお願いします。

なお、万一鯉のぼりや、釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、お近くの九州電力までご連絡いただきますようお願いします。

■問合せ先

- 九州電力株式会社 奄美配電事業所
電話0120(986)808

無料法律相談のご案内(奄美法律センター)

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で開催しており大和村民も無料で相談することができます。※時間は30分です。(事前に相談内容をまとめておくとは効率的です。同じ人が続けてお申込みされることはご遠慮いただいています。)

- 5月9日 大倉克大弁護士 13時～16時半
- 5月16日 鈴木穂人弁護士 9時半～11時半
- 5月23日 西 選子弁護士 11時～12時(正午) 13時～15時半
- 6月13日 和田知彦弁護士 13時～16時半
- 6月20日 菅野浩平弁護士 9時半～11時半
- 6月27日 大毛裕貴弁護士 11時～12時(正午) 13時～15時半

【予約】

- 奄美市役所市民協働推進課
電話0997(52)1111
- 問合せ先 住民税務課
電話0997(57)2127(直通)



島の宝 満1歳おめでとう



父 敬士さん 母 さとみさん (国直)

保護者からのコメント

「あまねお姉ちゃんが大好きな、
やんちゃ坊主です」



父 陽一郎さん 母 もも子さん (思勝)

保護者からのコメント

「これからもよく寝て、食べて、
笑っていてね。」



父 雄樹さん 母 真実さん (大棚)

保護者からのコメント

「いつもニコニコ笑顔の舟
これからも笑顔で周りを幸せな気持ちにさせてね」



父 豊和さん 母 環さん (大棚)

保護者からのコメント

「元気に大きくなってね」

前号でお名前の記載ミスがありました。
訂正して再掲いたします。

ご結婚 おめでとうございます

- 永田 広正さん(大和浜)
- 松元 恵さん(大和浜)
- 脇田 健さん(奄美市)
- 小田 裕莉明さん(大和浜)
- お誕生おめでとうございます
小田 虹愛さん
(父 康太 母 幸子・大和浜)
- お悔やみ申し上げます
赤井 キク様(89歳・大金久)
- 前田 清光様(84歳・大棚)
- 吉原 安廣様(90歳・津名久)
- 中元 輝美様(84歳・今里)
- 藤村 砂好様(80歳・大棚)
- 小田 敏子様(87歳・大和浜)
- 野畑 義雄様(78歳・津名久)

ふるさと納税 ありがとうございます

- 有川 昭男様(千葉市)
- 田中 智彦様(神奈川県)
- 山口 規夫様(東京都)
- 吉田 良夫様(東京都)
- 久次 米健介様(大阪府)
- 村沢 文広様(茨城県)
- 藤野 純平様(京都府)
- 森山 道夫様(大阪市)
- 門叶 充弘様(さいたま市)
- 田中 章浩様(東京都)
- 広報誌送付謝礼
ありがとうございます
- OA 通信サービス
FC 奄美店様(奄美市)
- 今田 実夫様(兵庫県)

- 香典返し(社会福祉協議会へ)
- 赤井 美香様(故 赤井 キク様)
- 前田 幸二様(故 前田 清光様)
- 奥田 浩一様(故 奥田 浩太郎様)
- 吉原 イク子様(故 吉原 安廣様)
- 野畑 ヨシノ様(故 野畑 義雄様)

こせきの窓

人口 1483 人 (△ 35)
男 725 人 (△ 17)
女 758 人 (△ 18)
世帯 858 世帯 (△ 11)
2 月 28 日現在
(前年同月比)



表紙写真の紹介

先日行われたまほろば大和ウォーキング大会は、過去最高の参加人数で盛り上がりしました。奄美フォレストポリス周辺のおよそ 1,000 本のヒカンザクラも美しく咲き誇り、メジロも見とれているようです。

撮影：吉原照悟

大和村長のフォトダイアリー



3 月 16 日、神奈川県大和市におきまして、たんかんの販売と昨年発売された黒糖焼酎「開饒」の PR を行ってきました。たんかんの甘味を堪能できる時期ということで、例年より 1 ヶ月遅らせて実施いたしました。いつもにも増して大好評を頂き来年度にむけて販売戦略を考えたいと思ったところであります。焼酎も販売許可を得ましたので、物産販売等に向けた取組を進めて参ります。

大和村の名も大和市の市民の皆さんにとっておなじみとなっているようですので、これからも交流自治体として良い関係を築いて行きたいと思ひます。

大和村長 伊集院 幼

スマホのアプリで
「広報やまと」を
いつでも、どこでも！

まちを好きになるアプリ



マチイロ

行政情報アプリ「広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル！

自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん！

1

役立つ行政情報を見逃さない！



2

自分に合わせた情報が届く！

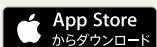


3

いろいろなまちの魅力をお届け！



ダウンロードはこちらから



※「広報紙」をご利用中の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要はありません。※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。

問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>